

熊本医療センター 化学療法レジメン登録票

S-1(14d)+PTX(50/D1,8)(3週毎) 療法

診療科	外科
がん種	胃癌
実施区分	外来可
適応分類	進行・再発がん・術後補助療法・術前補助療法・局所療法・その他

1コース期間	21 日間	最大コース数(規定があれば)	コース
--------	-------	----------------	-----

催吐リスク	軽度
-------	----

★1コースの抗がん剤投与スケジュール

薬剤名	(略号)	投与量	催吐リスク	Day								
				1	...	8	...	14	15	...	21	
パクリタキセル	PTX	50 mg/m ²	軽度	○		○						
TS-1	S-1	備考欄参照	軽度	○	○				

★備考欄

・TS-1 分2 14日間服用、7日間休薬

体表面積	投与量	減量
1.25m ² 未満	80mg/day	休薬
1.25m ² 以上1.5m ² 未満	100mg/day	80mg/day→休薬
1.5m ² 以上	120mg/day	100mg/day→80mg/day→休薬

・PTX

重篤な末梢神経障害が発現した場合には、次回の投与量を骨髄抑制の減量の目安に従い、減量して投与することを考慮する。

※保険適応なし

参考: B法(100mg/m ²)	減量段階: 通常投与量	投与量: 100mg/m ²
	減量段階: 1段階減量	投与量: 80mg/m ²
	減量段階: 2段階減量	投与量: 60mg/m ²

★備考欄

・S-1: Ccr<30mL/minは原則投与不可。30<Ccr≤60では1段階以上の減量。(適正使用ガイドより)

・PTX: 添付文書より

B法(参考): 各クールを開始する際(初回クールを含む)、投与前の臨床検査で白血球数が3,000/mm³未満又は好中球数が1,500/mm³未満であれば、骨髄機能が回復するまでは投与を延期すること。同一クール内での本剤の投与にあたっては、投与前の臨床検査で白血球数が2,000/mm³未満又は好中球数が1,000/mm³未満であれば、骨髄機能が回復するまでは投与を延期すること。投与後、白血球数が1,000/mm³未満となった場合には次回の投与量を減量すること。